

## 好評の「軽トラ朝市」今年も開催予定 南部畑作部会総会



▲出荷功労賞を受ける佐藤実さん  
功労賞受賞者  
佐藤実さん（広野）、佐藤善喜さん（酒田）、渋谷あき子さん（新堀）

酒田南部畑作部会の総会と全体講習会が2月7日、酒田みなみ支店で開かれ生産者など40人が参加しました。

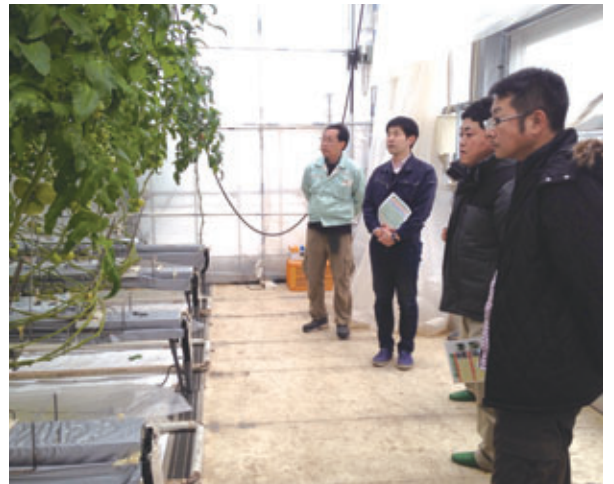
総会の中で、佐藤啓一部会長が同支店で6～9月に開催している「軽トラ朝市」について「お客さんに周知され、午前7時開始から1時間ほどで完売する日もある。30年度も実施する予定なので農産物をたくさん出してほしい」と呼び掛けました。また、出荷功労者表彰を行い、左記の生産者が受賞しました。

全体講習会では、当JA酒田園芸センターの菅原吉春係長がJAで園芸振興を図るアスパラガスや長ねぎ、ストックの栽培講習を、農業資材メーカーが天然フルボ酸の土壌改良材を紹介しました。

## 農研機構へ視察研修 園芸青年部「ベジビズ・ユース」

西洋野菜を栽培する酒田園芸センター青年部「ベジビズ・ユース」の佐藤豪部<sup>たけし</sup>部長ら4人が2月1日、茨城県つくば市の農研機構植物工場つくば実証拠点を訪れ、「ユビキタス環境制御システム（UECS）」を導入したトマトやイチゴ、キュウリの栽培施設を視察しました。「UECS<sup>ウエックス</sup>」とは施設内の温度、湿度、二酸化炭素濃度などの環境を、作物の好適条件に合わせてコンピュータが総合的に制御するシステムです。

佐藤部長は施設栽培する黒キャベツ「カーボネロ」やステイックカリフラワー「カリフロレ」について「最新技術の応用で精度の高い栽培方法確立に向け検討したい」と話していました。



▲つくば市の環境制御されたハウスを視察するメンバー

## 優良酒米コンテストで受賞 本榎酒米研究会の小野貴之さん



▲酒米協会の仲野益美会長から賞を受ける小野貴之さん

本榎酒米研究会の小野貴之さんが2月15日、山形市で開かれた県内の酒米生産者の技術力向上を目指す優良酒米コンテスト「出羽の里」の部において、酒米協議会長賞を受賞しました。

小野さんは酒米の品質はもちろん、ずんぐりとした健苗作り、浅植え、10日ごとの生育調査、肥培管理の徹底、乾燥は2段乾燥に加え最終仕上げ乾燥を行ったことなどが評価されました。受賞について「実需先の酒蔵の評価も上がってきている。今後も量でなく、徹底して品質を追求していきたい」と喜びを語りました。

本榎酒米研究会は8人の生産者が14haで酒米「出羽燦々」「出羽の里」「美山錦」「雪女神」を作付けしています。